

ちば

千葉県農林水産業の動向

— 令和7年度版 —



令和7年6月

千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

千 葉 県

はじめに

近年、相次ぐ災害や人口減少など本県を取り巻く環境は厳しさを増しています。一方、成田空港の更なる機能強化や、圏央道、北千葉道路など広域的な道路ネットワークが完成しつつある中で、半島性を克服し、県内の活力をより一層高める好機を迎えています。

また、国において食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正されるなど農業政策の大きな転換点を迎え、さらに、国際的に不安定な社会情勢により、先行きの不透明感も増しており、これらへの的確な対応が求められています。

県では、「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」の実現のために、具体的な取組を示した「千葉県農林水産業振興計画（令和4年度～7年度）」を令和4年3月に策定して各種施策に取り組んできたところですが、農林水産業を取り巻く環境は、資材費等の高騰による生産コストの増加に加え、温暖化に伴う高温障害などの影響により、厳しさを増しています。県としても、算出額の増大や所得向上に向け、一層の農林水産業の振興を図っていくことが重要と考えています。

本書は、令和7年度における千葉県農林水産業の動向をとりまとめたものです。

農作物の高温対策、さつまいも、梨、豚などの品目を核とした集中プロモーション、農林水産物の販路開拓や輸出促進、千葉県農林水産業を支える人材育成等に対応した各種施策を、農林漁業者や関係団体の皆様と一体となって推進してまいります。

生産者や関係機関、関係団体の皆様におかれましては、本県農林水産業の振興のため、本書を御活用いただければ幸いです。

令和7年6月

千葉県農林水産部長 高橋 輝子

目 次

はじめに

I 千葉県農林水産業の概要

1 千葉県のすがた	1
2 産業別就業人口	1
3 産業別県内総生産	2
4 土地利用	2
5 農業生産	3
6 森林・林業	4
7 漁業生産	4
8 農家・漁家率	5
9 食料自給率	5

II 農業の動向

1 農業産出額からみた本県農業	7
2 農業構造の動向	
(1) 農家	9
(2) 農業従事者	10
(3) 農業経営体・販売農家数の現状	11
(4) 農地所有適格法人等の現状	13
(5) 集落営農組織の現状	14
(6) 認定農業者	15
(7) 農業の新たな担い手	17
(8) 就農準備資金・経営開始資金	18
(9) 耕地	18
(10) 農用地の流動化と利用集積	21
(11) 都市農業	22
(12) 荒廃農地	22
(13) 多面的機能支払・中山間地域等直接支払・環境保全型農業直接支払	23
(14) 野生鳥獣による被害状況	24
(15) 生産基盤の整備	26
(16) 農業協同組合	30
3 主要農産物の生産動向	
(1) 米	32
(2) 麦	34
(3) 大豆	35
(4) 落花生	36
(5) いも類	37
(6) 野菜	38
(7) 果樹	43
(8) 花き・植木	44

(9) 環境にやさしい農業	45
(10) 飼料作物	48
(11) 畜産	50
4 主要農業構造指標の地域別特化	56

III 森林・林業の動向

1 森林資源	57
2 林業構造	58
3 森林整備	59
4 林産物	61
5 路網整備	65
6 森林病虫害	65
7 森林の公益的機能と県土の保全	65
8 県民の森	66
9 県営林・公益保全林	67
10 法人の森	67
11 里山活動団体	67
12 企業や団体等による森林整備	67

IV 水産業の動向

1 漁業生産の動向	
(1) 海面漁業・養殖業生産量	68
(2) 海面漁業・養殖業産出額	69
(3) 魚介藻類生産量の全国順位	69
(4) 内水面漁業の生産量	70
(5) 内水面養殖業の生産量	72
(6) 主な魚種別生産量	73
(7) 水産加工業	74
(8) つくり育てる漁業	75
2 水産業構造の動向	
(1) 漁業経営体数	77
(2) 業種別漁労体数	78
(3) 漁業就業者数	78
(4) 漁業の担い手の確保	79
(5) 漁業従事世帯員数	80
(6) 漁船数	81
(7) 水産業協同組合	83
(8) 沿海地区漁協等	85
(9) 漁港整備	86

V 横断的・戦略的な項目の動向

1 県産農林水産物・食品の輸出	87
-----------------	----

2	6次産業化	90
3	農林水産物直売所	92
4	新たな技術の開発	93
VI 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響と対応		95
トピックス		
・	「全国豊かな海づくり大会」の令和9年度の本県開催が決定	6
・	「農福連携全国フォーラム2024 in ちば」が開催されました。	17
・	干潟耕地のほ場整備事業完了	29
・	農業における環境負荷低減の取組の推進について	47
・	「千葉県酪農のさと」で白牛の嶺花（れいか）が双子を出産しました！	55
・	高度衛生管理型荷さばき施設の整備について	76
・	千葉県ブルーカーボン推進協議会の開催	76
・	千葉県海業推進基本構想の策定について	82
・	県産農林水産物の輸出活性化取組方針策定（令和6年5月）	89
・	6次産業化・農商工等連携の交流会を開催	91
〔参考〕		
1	市町村別主要農業構造指標	104
2	千葉県農業の主要指標	108
3	千葉県農業の主要指標の推移	109
4	千葉県森林・林業の主要指標	110
5	千葉県水産業の主要指標	111
6	農林水産業災害の状況	112
7	生産資材（A重油・家畜飼料・肥料）の購入価格の推移（全国）	116
8	主要農畜産物の生産費の推移（水稲・生乳）	117
9	我が国の食料需給動向	119
10	千葉県農産物の全国ランキング（令和5年）	120
11	千葉県水産物の全国ランキング（令和5年）	124
12	農林水産部予算課別総括表（一般会計）	126
13	農業産出額上位道県における、当初予算額と農業産出額の推移	127
14	ちばの旬（青果物）	128
15	ちばの旬（花き）	130
16	ちばの旬（水産物）	132
17	千葉県で行われている漁業	133
18	千葉県農林水産部組織体系図	134
19	統計関係用語集	135
20	令和6年度の千葉県農林水産業の主なできごと	137

I 千葉県農林水産業の概要

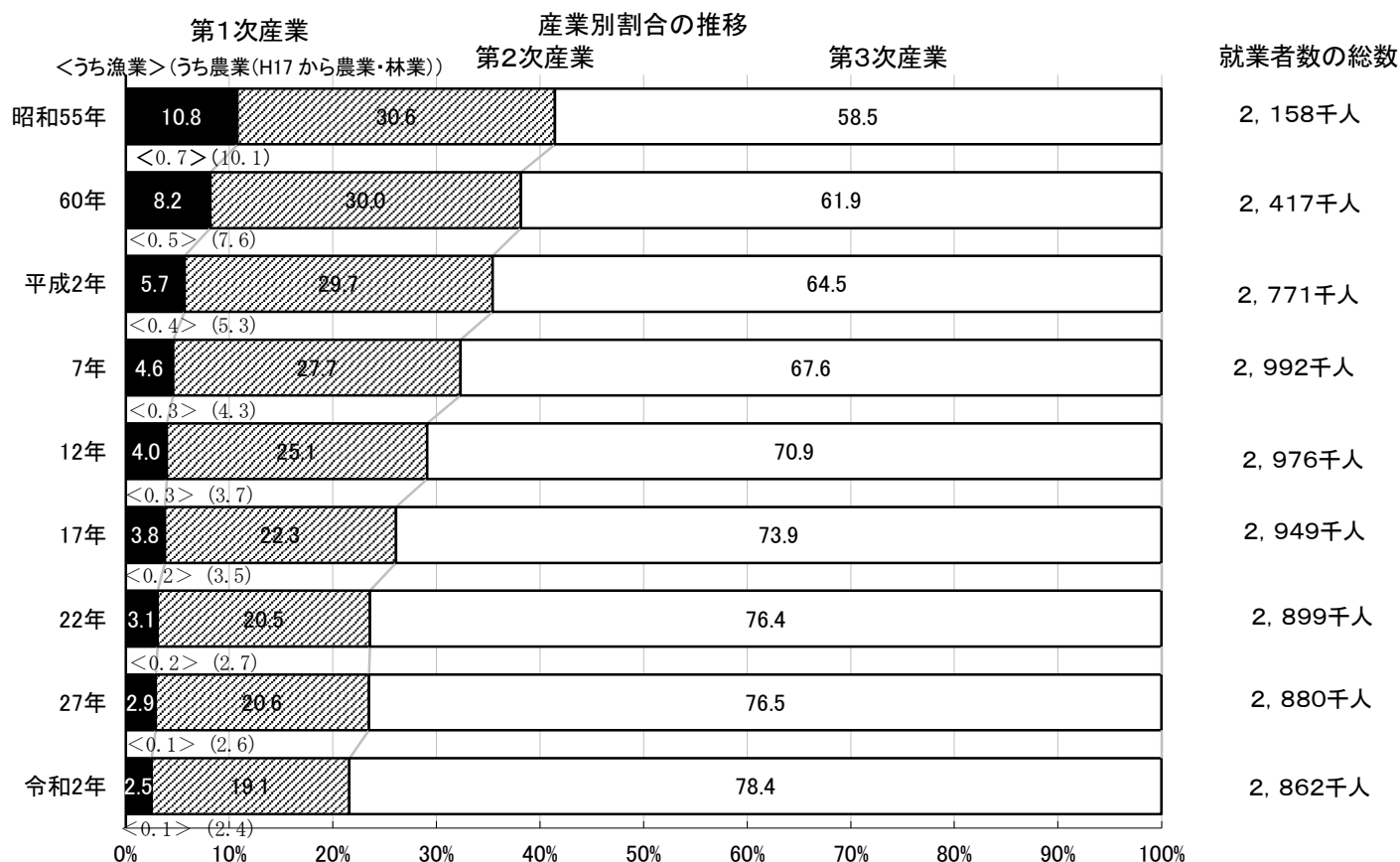
1 千葉県のすがた

- (1) 千葉県は、首都圏の東側に位置し、南東は太平洋、西は東京湾に面し、太平洋に突き出た半島になっている。また、北西は東京都と埼玉県に、北は茨城県に接している。
- (2) 面積は、5,156.48 平方キロメートル、全国第 28 位であり、東京都と神奈川県を合わせたよりも広い。(令和 6 年 10 月 1 日現在)
 地勢は、南部の 200～300m 級の山々が続く房総丘陵、東京湾岸の低地、北部の比較的平坦な下総台地、利根川流域と九十九里沿岸に広がる平野となっている。(県内最高峰：愛宕山 408m)
 海岸線の長さは、531km(令和 5 年 3 月 31 日現在)に及び、変化に富んだ景観を見せている。
- (3) 三方を海に囲まれた千葉県は、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候である。特に南房総沿岸は、沖合を流れる暖流(黒潮)の影響を受け、冬でもほとんど霜が降らない。降水量は、夏季に多く、冬季は少ない気候となっている。

2 産業別就業人口(平成 27 年比 総就業者数 18 千人減、うち 1 次産業 1.1 千人減)

- (1) 県内総就業者数(令和 2 年)は 2,862 千人で、産業別には、第一次産業が 69 千人(産業別割合※2.5%)、第二次産業が 527 千人(同 19.1%)、第三次産業が 2,167 千人(同 78.4%)、分類不能の産業が 99 千人となっている。農業、林業は 66 千人(同 2.4%)、漁業は 3 千人(同 0.1%)となっている。
- (2) 平成 27 年と比較すると、総数で 18 千人、第一次産業で 10.7 千人、第二次産業で 32.7 千人減少し、第三次産業で 84.2 千人増加している。産業別の構成比はほぼ横ばいである。

※割合は、分母から「分類不能の産業」を除いて算出している。(資料：国勢調査)



3 産業別県内総生産（県内総生産は名目で3.1%増、農林水産業6.6%増）

- (1) 令和4年度の千葉県経済の規模（県内総生産）は名目で21兆4,143億円、実質で22兆1,844億円となり、経済成長率は名目で3.1%増、実質8.6%増となった。
- (2) 農林水産業の名目総生産額は1,833億円で、前年度に比べ6.6%増、県内総生産に占める構成比は0.9%となった。

経済活動別県内総生産（生産側・名目）

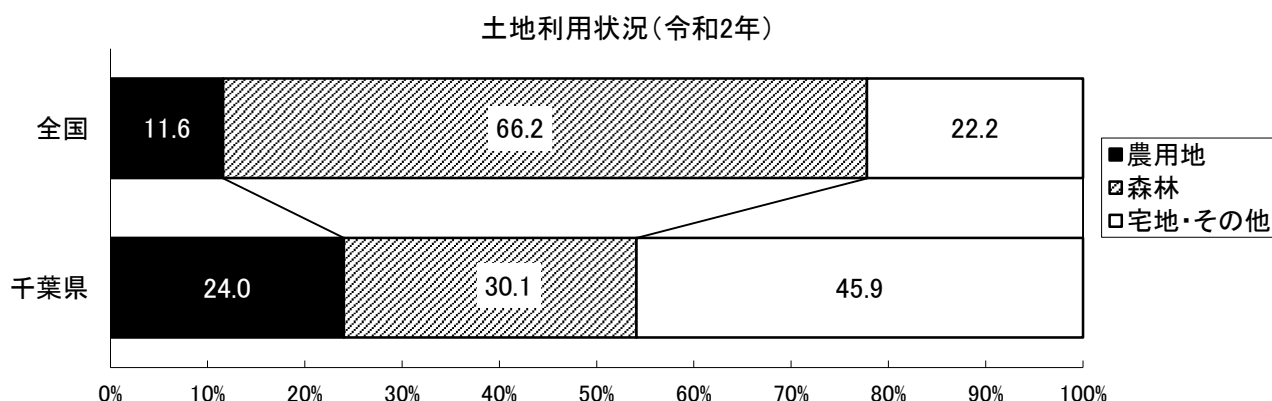
（単位：億円、%）

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
農林水産業	2,045	1.0	1,926	0.9	1,890	0.9	1,720	0.7	1,833	0.9
うち農業	1,884	0.9	1,789	0.8	1,764	0.9	1,604	0.7	1,703	0.8
うち林業	18	0.0	18	0.0	19	0.0	20	0.0	21	0.0
うち水産業	143	0.1	118	0.1	107	0.1	95	0.0	110	0.1
第2次産業	52,008	24.2	49,938	23.5	52,762	25.9	51,167	24.9	51,017	23.8
第3次産業	160,195	74.5	159,885	75.2	151,417	72.9	153,353	73.4	159,253	74.4
小計	214,248	99.7	211,749	99.6	206,070	99.6	206,240	99.0	212,104	99.0
輸入税	3,786	1.8	3,690	1.7	3,655	1.8	4,266	2.1	5,635	2.6
その他（控除）	3,036	1.4	2,771	1.3	2,876	1.4	2,843	1.1	3,596	1.7
県内総生産	214,999	100	212,668	100	206,848	100	207,662	100	214,143	100

（資料：令和4年度千葉県県民経済計算）

4 土地利用（全国に比べ農用地割合は2倍）

- (1) 千葉県の総面積は51.6万haであり、主な土地利用状況（令和2年）をみると、農用地が12.4万ha（24.0%、前年比1,037ha減）、森林が15.5万ha（30.1%、前年比400ha減）、宅地・その他が23.7万ha（45.9%、前年比1,434ha増）となっている。
- (2) 全国平均と比べると農用地、宅地・その他の割合が約2倍と高くなっており、森林の割合は全国平均の半分以下である。



千葉県の土地利用（令和2年）

（単位：万ha・%）

項目	総面積	農用地	森林	宅地・その他	備考
全 国 （構成比）	3,780 (100.0)	437 (11.6)	2,503 (66.2)	840 (22.2)	資料： 全 国：「令和5年度土地に関する動向」 （国土交通省調べ） 千葉県：土地利用現況把握調査 （政策企画課調べ）
千 葉 県 （構成比）	51.6 (100.0)	12.4 (24.0)	15.5 (30.1)	23.7 (45.9)	

5 農業生産（産出額は4,029億円で全国第4位、生産農業所得は全国第5位）

- (1) 令和5年の農業産出額は4,029億円（前年比353億円増）で、全国第4位となった。
- (2) 農業産出額の構成は、米が569億円（前年比97億円増）、野菜・果実・花きを合わせた園芸が1,644億円（前年比20億円増）、畜産が1,501億円（前年比275億円増）と、園芸を中心とした農業が展開されており、首都圏の重要な食料供給基地の役割を担っている。
- (3) 生産農業所得は1,262億円（前年比42億円増）となり、全国第5位となった。

千葉県農業生産の位置（令和5年）

順位 項目	1	2	3	4	5	全国
農業産出額 （億円）	北海道 13,478	鹿児島県 5,438	茨城県 4,571	千葉県 4,029	熊本県 3,757	94,987
生産農業所得 （億円）	北海道 5,167	熊本県 1,554	茨城県 1,539	鹿児島県 1,534	千葉県 1,262	32,929

（資料：令和5年農業産出額及び生産農業所得）

主な部門別の農業産出額（令和5年）

（単位：億円・%）

項目	合計	米	豆類	いも類	野菜	果実	花き	畜産	畜産の主な内訳		
									乳用牛	豚	鶏
千葉県 （構成比）	4,029 （100.0）	569 （14.1）	69 （1.7）	212 （5.3）	1,336 （33.2）	108 （2.7）	200 （5.0）	1,501 （37.3）	254 （6.3）	519 （12.9）	593 （14.7）
千葉県の 全国順位	4	9	2	4	4	22	2	5	6	4	4
全国 （構成比）	94,987 （100.0）	15,193 （16.0）	572 （0.6）	2,301 （2.4）	23,243 （24.5）	9,590 （10.1）	3,522 （3.7）	37,248 （39.2）	9,249 （9.7）	7,194 （7.6）	12,069 （12.7）
〈参考〉 R4 千葉県 （構成比）	3,676 （100.0）	472 （12.8）	103 （2.8）	215 （5.8）	1,335 （36.3）	91 （2.5）	198 （5.4）	1,226 （33.4）	249 （6.8）	467 （12.7）	381 （10.4）
〈参考〉 H25 千葉県 （構成比）	4,141 （100.0）	710 （17.1）	64 （1.5）	178 （4.3）	1,687 （40.7）	159 （3.8）	189 （4.6）	1,094 （26.4）	258 （6.2）	407 （9.8）	371 （9.0）

（資料：農業産出額及び生産農業所得）

農業構造（令和6年）

（単位：ha・千経営体・%）

項目	耕地	田	畑	農業 経営体	経営体の構成		
					個人 経営体	団体 経営体	法人 経営体
千葉県 （構成比）	119,500 （100）	70,900 （59）	48,700 （41）	30.6 （100.0）	29.7 （97.1）	0.9 （2.9）	0.8
全国順位	10	11	7	7	6	15	9

（資料：令和6年耕地及び作付面積統計・令和6年農業構造動態調査）

6 森林・林業（全国に比べ森林率は約2分の1）

- (1) 千葉県の森林面積は14.5万haで全国第40位、蓄積は26.6百万m³で42位、森林率は28.1%で47位と総体的に低位にある。また、人工林率は33.4%で、全国平均40.3%を下回っている。
- (2) 林家数は1.1万戸で全国第28位であり、林家1戸当たりの保有山林面積は3.3haで全国平均の49%である。
- (3) 令和5年の特用林産物の生産は、竹材が3.1千束で全国第13位(前年7位)、たけのこは348.2tで8位(前年10位)と比較的上位にある。生しいたけは2,925.7tで全国第8位(前年11位)となっている。

森林資源と林家数及び林産物生産量

項目	森林資源				林家数 (万戸)	生産量			
	森林面積 (万ha)	人工林率 (%)	蓄積 (百万m ³)	森林率 (%)		素材 生産量 (千m ³)	生しいたけ 生産量 (t)	竹材 生産量 (千束)	たけのこ 生産量 (t)
千葉県	14.5	33.4	26.6	28.1	1.1	68	2,925.7	3.1	348.2
全国順位	40	40	42	47	28	41	8	13	8

- (注) 1 千葉県の森林面積、人工林率、蓄積、森林率はR6.3.31現在の数値(令和5年度千葉県森林・林業統計)
 2 森林面積、人工林率、蓄積、森林率の全国順位はR4.3.31現在の数値(林野庁「森林資源の現況」)
 3 林家数は2020年農林業センサス
 4 素材生産量、特用林産物の生産量及び全国順位(生しいたけ、竹材、たけのこ)は、令和5年次の数値(令和5年木材統計、令和5年特用林産基礎資料)

7 漁業生産（海面漁業漁獲量が全国第9位、海面陸揚金額が全国第7位）

- (1) 令和5年の海面漁業・養殖業生産量(属人)は、82,598t(前年比23.7%減、25,653t減)で全国第15位(前年9位)、産出額は約249億円(前年比15.9%増、34億円増)で全国19位(前年19位)となった。生産量の内訳は、海面漁業漁獲量が79,158t(前年比23.3%減、24,064t減)で全国第9位(前年6位)、海面養殖業収獲量が3,440t(前年比31.6%減、1,589t減)で全国第22位(前年22位)である。
- (2) 令和4年の海面陸揚金額(属地)は、443億円(前年比0.2%減、1億円減)で全国第7位(前年6位)である。
- (3) 令和5年の内水面漁業・養殖業生産量は135t(前年比6.3%増、8t増)で、全国33位(前年33位)である。内訳は、内水面漁業漁獲量が19t(前年比17.4%減、4t減)、内水面養殖業収獲量が116t(前年比11.5%増、12t増)である。

漁業生産量(令和5年)・海面陸揚金額(令和4年)

順位	海面漁業・養殖業生産量		海面漁業漁獲量		海面陸揚金額	
	都道府県名	生産量(t)	都道府県名	漁獲量(t)	都道府県名	金額(億円)
1位	北海道	957,063	北海道	842,704	北海道	2,201
2位	長崎県	315,422	長崎県	292,890	宮城県	707
3位	宮城県	269,363	茨城県	259,496	鹿児島県	656
4位	茨城県	259,496	宮城県	180,369	長崎県	601
5位	静岡県	147,353	静岡県	144,710	静岡県	553
6位	愛媛県	136,571	島根県	102,252	愛媛県	515
7位	青森県	120,259	鳥取県	100,501	千葉県	443
8位	広島県	111,088	宮崎県	82,611	青森県	401
9位	島根県	102,795	千葉県	79,158	兵庫県	265
10位	鳥取県	102,302	愛媛県	74,096	鳥取県	262
15位	千葉県	82,598	三重県	52,275	三重県	198

(資料：令和5年漁業・養殖業生産統計、令和4年漁港港勢)

8 農家・漁家率（農家、漁家共に年々減少）

- (1) 県総世帯数及び総人口に占める農家率は、都市化に伴う世帯数・人口の増加と、農家数・農家人口の減少によって年々低下している。
- (2) 平成 12 年に 2,173 千戸だった県の総世帯数は、令和 5 年には 2,869 千戸と 696 千戸あまり増加した。

これに対し、平成 12 年に 92 千戸だった農家数は、令和 2 年には、51 千戸と 41 千戸あまり減少し、4.2%だった農家率は、1.8%まで減少した。

また、平成 12 年に 4 千戸だった漁家数は、令和 5 年には 1 千戸と 3 千戸あまり減少し、漁家率も 0.2%から 0.03%と減少した。

千葉県の農家・漁家率

(単位：千戸・千人・%)

区分	平成 12 年	17 年	20 年	22 年	25 年	27 年	30 年	令和 2 年	5 年
総世帯数	2,173	2,325	2,454	2,516	2,573	2,609	2,726	2,774	2,869
農家数	92	82	—	74	—	63	—	51	—
農家率	4.2	3.5	—	2.9	—	2.4	—	1.8	—
漁家数	4	4	3	—	2	—	2	—	1
漁家率	0.2	0.2	0.1	—	0.1	—	0.1	—	0.03

ー：未公表のもの

(資料：千葉県毎月常住人口調査、農林業センサス、漁業センサス、千葉県農林水産統計年報)

(注) 総世帯数は千葉県毎月常住人口調査の 10 月 1 日時点の数値。

漁家数は漁業センサス及び千葉県農林水産統計年報の個人経営体数

9 食料自給率（カロリーベースは 24%、生産額ベースは 42%）

- (1) 千葉県の令和 4 年度のカロリーベースの食料自給率（概算値）は 24%で、全国第 35 位である。
- (2) 千葉県の食料自給率が低い理由としては、熱量が低い野菜等の生産が多いこと、人口が多いことがあげられる。

令和 4 年度都道府県の食料自給率及び全国順位(概算値)

全国順位	都道府県	食料自給率		<参考>人口
		カロリーベース	(生産額ベース)	
	全 国	38%	(58%)	124,947 千人
1 位	北海道	218%	(4位) (205%)	5,140 千人
2 位	秋 田 県	196%	(11位) (128%)	930 千人
3 位	山 形 県	145%	(6位) (165%)	1,041 千人
8 位	鹿児島県	80%	(2位) (249%)	1,563 千人
12 位	茨 城 県	68%	(15位) (103%)	2,840 千人
18 位	熊 本 県	60%	(8位) (142%)	1,718 千人
35 位	千 葉 県	24%	(33位) (42%)	6,266 千人
45 位	神奈川県	2%	(45位) (10%)	9,232 千人
46 位	大阪 府	1%	(46位) (5%)	8,782 千人
47 位	東京 都	0%	(47位) (2%)	14,038 千人

カロリーベース

都道府県別食料自給率 (%) =

$$\frac{1 \text{ 人} \cdot 1 \text{ 日あたりの各都道府県産熱量}}{\text{全国の 1 人} \cdot 1 \text{ 日あたり供給熱量 (2,252 kcal)}} \times 100$$

純食料 100g あたりの熱量

米(342.0 kcal)・いも類(70.9 kcal)・
野菜(27.6 kcal)・果実(72.8 kcal)・
肉類(193.0 kcal)

(令和 4 年度食料需給表(確定値))

(資料：令和 4 年度 都道府県別食料自給率(概算)、総務省「人口推計」(令和 4 年 10 月 1 日現在))

「全国豊かな海づくり大会」の令和9年度の本県開催が決定

「全国豊かな海づくり大会」は、漁業の振興と発展を図ることを目的として、昭和56年度から全国各地で開催されている注目度の高い国民的行事です。

県では、千葉県漁業協同組合連合会からの要望を受け、本大会の招致に向け取り組んでいたところ、令和9年度に本県で第46回大会を開催することが正式決定しました。

本県では、平成4年度に勝浦市で第12回大会を開催して以来、35年ぶり2回目の開催となります。



平成4年度千葉県大会にて稚魚を御放流される天皇皇后両陛下